

作業計画と実績

2018年3月6日現在

月日	曜日	予定 (2/21週間予定表より)	実績
2月19日	月		
2月20日	火		
2月21日	水	・Mouse Stress Defense実験準備	・Mouse Stress Defense実験準備
2月22日	木	・Mouse Stress Defense実験準備	・Mouse Stress Defense実験準備
2月23日	金	Two-Phase Flow 実験	Two-Phase Flow 実験
2月24日	土		
2月25日	日		

日付は日本時間

略語

- Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
- Two-Phase Flow: 沸騰・二相流体ループを用いた気液界面形成と熱伝達特性
(代表研究者: 大田治彦 九州大学教授)
- Mouse stress Defense: 宇宙ストレスにおける環境応答型転写因子の役割
(代表研究者: 山本雅之 東北大学教授)
- Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
- PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
- SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
- MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
- ExHAM: 簡易曝露実験装置
- CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置

作業計画と実績

2018年3月6日現在

月日	曜日	予定 (2/21週間予定表より)	実績
2月26日	月	[継続実施中] ○船内利用 ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験	[継続実施中] ○船内利用 ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験
2月27日	火		Two-Phase Flow 実験
2月28日	水	○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション (SEDA- AP)	○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション (SEDA- AP)
3月1日	木	・全天のX線天体 の監視 (MAXI) ・簡易曝露実験 装置 (ExHAM) を 利用した曝露実 験	・全天のX線天体 の監視 (MAXI) ・簡易曝露実験 装置 (ExHAM) を 利用した曝露実 験
3月2日	金	Two-Phase Flow 実験 ・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)	・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)
3月3日	土		
3月4日	日		

日付は日本時間

略語

Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
Two-Phase Flow: 沸騰・二相流体ループを用いた気液界面形成と熱伝達特性
(代表研究者: 大田治彦 九州大学教授)
Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
ExHAM: 簡易曝露実験装置
CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置